

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1470201110
法人名	社会福祉法人 フェローズ
事業所名	フェローズガーデン西寺尾
訪問調査日	平成 23 年 8 月 3 日
評価確定日	平成 23 年 9 月 30 日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
外部評価は20項目です。  
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
[取り組みの事実]  
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
[次ステップに向けて期待したい内容]  
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
家 族 = 家族に限定しています。  
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

### 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1470201110	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	社会福祉法人 フェローズ			
事業所名	フェローズガーデン西寺尾			
所在地	( 〒221-0001 )			
	横浜市神奈川区西寺尾2-34-7			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年7月26日	評価結果 市町村受理日	平成23年10月17日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成23年8月3日	評価機関 評価決定日	平成23年9月30日

**【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】**

①このホームは地元出身の代表者が、自己所有の敷地に介護に対する大きなポリシーを持ち、平成17年に開所した。開所以前は、同じ地で訪問介護事業所を展開しており、自宅でのケアが難しくなった利用者を継続してお世話することが開所の目的の1つであるとお聞きした。代表者は信念を持ったリーダーシップと、家族のような生活の双方を実現し、率先して介護に当たっている。職員は常勤比率も高く、非常勤の職員も近所の気心の知れた主婦が中心であり、利用者に対する思いも篤く、理念の「尊重、温もり、交流」を基軸として、心のこもったケアを展開している。

②開所して丸6年が過ぎた。地域における社会的責任の一端を担う責任・自覚は、訪問介護事業所運営時代より継続して持ち続けており、代表者が地元出身であることもあって、地元への貢献の想いは篤く意欲的である。但し、地元出身であるが故に、敢えて地域との交流を急がず、自然体で利用者相互の交流、利用者との交流、ホームとご家族の交流、1階・2階の利用者の交流、と云った基本を固めて地域とは焦らず自然にお付き合いが深まるよう、運営推進会議のメンバーである自治会長、民生委員、地域包括支援センターとの連携を深め、地域包括支援センターへはレクのインストラクター研修の講師を引き受けるなど、地道な交流を進めている。焦らず地道に進められる余裕も地元発のホームの強みといえる。代表者のリーダーシップは非常に強く、職員も強く影響され、教育を受け、個々のリーダーシップが順次育っているのは頼もしい。

③ケアについては、個人別にモニタリング、アセスメントのベースとなる「個人別ICF展開シート」を中心としたカンファレンスが定着している。利用者の意思を慮り、更にICFの考え方にに基づき、単に心身機能、身体構造の出来る、出来ないのファクターに止まらず、活動、参加の生活機能の可能性、それを支える個人・環境の因子も視野に入れた幅広いモニタリング、アセスメントにより、カンファレンスで話し合い、個人別に噛み砕いた形で介護計画に展開し、サポートするようにしている。職員の教育についても、年間教育計画を策定し、外部研修にも参加させ、フロア会議は議題の他に研修項目を組み込み、職員の資質向上のため、共に研鑽する体制も定着している。

**【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】**

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	フェローズガーデン西寺尾
ユニット名	1F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の人間性を尊重し家庭的で温もりのある介護を行い、地域社会とのかかわりを大切にするグループホームを運営するため、理念として「尊重、温もり、交流」を掲げている	自己評価に記されている通り「尊重、温もり、交流」の理念を掲げている。理事長、管理者は日常の業務や職員会議などを通じて理念の実践に取り組み、現場第一のケアを実現している。ホームの方針もスタッフが継続して働ける、働き易い職場体制作りを基本に置いており、良い介護者が継続して勤務し、職員の異動が無いことも大きな力となっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	できる限り自治会や老人会の行事に参加し、地元の人々と交流を図っている	代表者が地元出身であることもあって、地元への貢献の想いは篤く意欲的である。できる限り自治会や老人会の行事に参加し、地元の人々と交流を図っている。但し、地元出身であるが故に、敢えて地域との交流を急がず、利用者相互の交流、利用者との職員との交流、ホームとご家族の交流、1階・2階の利用者の交流と云った基本を固めて、地域とは焦らず自然に、従来通りのお付き合いが出来るよう自然体で進めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護のことなら何でも相談できる「介護相談」を行ない、地域に役立つよう努めている また認知症を理解する機会をつくるよう努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月ごとに運営推進会議を開催し、入居者の現状説明や実際への取り組みを報告し、話し合いを通じて内部では気付かない点を発見することからサービスの質の確保・向上に努めている	隔月ごとの運営推進会議は、町会長(民生委員でもある)、地域包括支援センターの方、ご家族(3名)それにホーム関係者と云うメンバーで、入居者の現状説明や実際への取り組み報告、話し合いを通じてサービスの質の確保・向上に努めている。プライバシーに配慮しつつ実例を交え乍ら進めている。メンバーからアドバイスやボランティア情報など聞かせて頂き、有意義な会となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日常業務を通じて市や区と連携を図り、サービスの向上に努めている	日常業務を通じて市や区と連携を図り、サービスの向上に努めている。区役所で開催される研修会には必ず出席するようにしている。運営推進会議メンバーである地域包括支援センター以外に、管内の違う地域包括支援センターでレクのインストラクター研修の講師を引き受ける等して交流を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議で身体拘束をしないケアの徹底に努めている	身体拘束の弊害について、正しく理解しており、更に日常的に職員会議等で身体拘束をしないケアの徹底に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で研修の時間を設け、虐待の防止に努めている また日常ケアのなかで職員が意識のない虐待が見過ごされないよう注意をはらっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員会議で権利擁護研修の時間を設け、職員の意識を高めている なお、必要性が発生した場合は即対応&活用できるようにしていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、十分に時間をかけて利用者や家族に説明している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に十分説明するとともに、「苦情申立窓口の設置について」をホーム内に掲示している	家族等に意見、要望を自由にお話し頂けるよう契約時に十分説明すると共に、「苦情申立窓口の設置について」をホーム内に掲示している。入居後には利用者の状況について、ご家族の来訪時に口頭等で充分説明し、訪問が少ないご家族には毎月のフェローズ通信の個人記録欄に個別に記載しお知らせしている。特に医療情報は必ずお伝えするようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務中または毎月開催している職員会議などから意見や要望を聞き、反映させている また、意見や提案などを伝えるためのノートを置き 全職員が読み 結果を反映させている	業務中または毎月開催している職員会議などから意見や要望を聞き、反映させている。また、意見や提案などを伝えるためのノートを置き 全職員が読み 結果を反映させるようにしている。職員会議では個人の目標を与え、1年後に自己評価、反省をし、ケアの向上に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表は毎月、職員の要望を取り入れて作成している		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画に職員育成を掲げ、実践している。また、法人内外研修の機会を確保している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全職員を対象に「認知症介護実践研修」や「グループホーム質の確保事業」に参加させている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接は本人の自宅を必ず訪問し、十分に時間をかけて話を聞いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の話をよく聞くとともに必ずホームを見学して載っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望者の状況を把握し、一番好ましい介護サービスを薦めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	傾聴を基本に本人の生活歴を把握し、一緒に過ごすよう努めている。レクリエーション活動を充実させ共に過ごしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画の作成や交流会を通じて家族とスムーズに連携が図れるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	申し込みがある場合は、書類だけではなく何回でもホームを見学して載っている	申し込みがある場合は、書類だけではなく何回でもホームを見学して頂き、納得して入居して頂いている。入居者は医師の紹介、地域ケアプラザの紹介、居宅支援事業所の紹介等が多く、地域の方も多。公園等に散歩に行けば馴染みの風景を目にし、安心されることもあり支援に努めている。1人暮らしの方は、ホームに住所を移し、ご近所との交流などを楽しんでいる。	今後も継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション、食事、おやつなどの充実 に努め、利用者どうしの交流を深めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関わりを必要とする例がない		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の傾聴に努め、日常会話の中から思いや意向を把握している	日頃の会話から「その人の思い」を聴きだし、表現のうまく出来ない方からは寄り添うことで「その人のサイン」を把握している。アセスメントについてはICFを活用したアセスメントシートを独自に作成、使用している。環境因子では何が良かったが分かり、個人因子では主に生活歴が分かるなど読み方、書き方をスタッフに教育している。沢山記載があれば生活に活気があり、白紙部分の多い人はADLが低下しているなど概略も掴める。肯定が多く、否定が少ないのが理想である。	今後も継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者だけに止まらず、家族からの情報収集にも努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌の閲覧や申し送りの徹底を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の観察から課題を整理するとともに、医師の判断や家族の意見を取り入れ、職員会議で検討しながら介護計画を作成している	日常の観察から課題を整理すると共に、医師の判断や家族の意見を取り入れ、毎月の職員会議で個人別に検討しながら介護計画を作成している。毎月の職員会議での検討がモニタリングとなっている。会議では問題点をリーダーが申し送りと記録を担当し情報の共有するようにしている。	今後も継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌への記載や申し送りの徹底によりケアを実践するとともに介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて病院への同行、処方箋の依頼や薬局への薬の受け取りを行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員との連携、消防署指導での避難訓練の実施、入居者の趣味に通じたボランティアの依頼(落語、三味線、大正琴、将棋等)を行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地元のかかりつけ医による往診を実施している。入居者の体調が変化した時は、すぐに電話で指示をもらえる体制を確保している	地元のかかりつけ医による往診を実施している。入居者の体調が変化した時は、すぐに電話で指示をもらえる体制となっている。往診は各ユニット毎に月2回ずつ実施している。先生は1ユニット毎の往診なので毎週来ているので、他のユニットで体調の悪い場合は相談出来るメリットがある。看護師は同じ病院の看護師と契約しているので医師との連携も良く安心できる体制にある。	今後も継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携先医院による健康診断や予防接種を実施するほか訪問看護も導入している			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医師や家族と連携を図り、利用者に安心感を与えている			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族や医師との話し合いに努め方針を共有している	ターミナルに関する書類があり、重度化への関する指針があり、入所に際し同意を頂いている。医療については、連携体制を取っている。実際のターミナル期になると、往診医と家族、三者で話し合い、病院でターミナル期を過ごすか、ホームに居るか等、十分に方向性を決めるようにしている。		今後も継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が緊急に対する初期対応の訓練を行っている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施している。災害時の入居者避難場所を決定している	消防署などにもご協力頂いて避難訓練を定期的実施している。災害時の入居者避難場所は決まっている。備蓄については水、缶詰に食材のお米などを中心に準備している。		今後も継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに気を付け、個人対応がプライバシーを損ねることにならないよう努めている	入居者の一人ひとりを人生の先輩として敬い、言葉遣いは勿論のこと、接し方もやさしい心配りで丁寧に行われている。特に言葉かけには気を付け、個人対応がプライバシーを損ねることにならないよう努めている。	今後も継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴から本人の思いを探し出すことに努め、本人の理解度に応じた説明を行い、納得が得られるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務スケジュールを優先するのではなく、その日の状況に合わせた支援に努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の身だしなみについては、常に職員が目を向け声かけをしている。カット等はライセンスのある職員が行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	器やサイドディッシュに気を配り、味だけでなく目も楽しめるように努めている。器と一緒に選んだり盛り付けをしたり片付けも共に行っている	器やサイドディッシュに気を配り、小さな器に色々なものを山盛りにならないよう指導し、味だけでなく目も楽しめるように努めている。器と一緒に選んだり盛り付けをしたり片付けも共に行っている。食事も主食は食材会社を活用しているが、おやつなどは手作りで、季節の物を考えて楽しんでもらっている。	今後も継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取表や食事摂取表で確認し、入居者それぞれの健康状況に応じた支援に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方には声掛けと見守り、介助を要する方には義歯管理まで行っている。歯科医との連携も取っている。口臭予防のため洗口液を用いている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表チェックを徹底し、一人ひとりのパターンを知ることで気持ちよく排泄できるよう支援している。失敗後は清拭を行うとともに気にしなくていいような声かけを行っている	排泄表チェックを徹底し、一人ひとりのパターンを知ることで気持ちよく排泄できるよう支援している。気持のよい排泄とは禁止の言葉が出ない状況を作ることと指導している。失敗後は清拭を行うと共に、本人が気にしなくていいような声かけをするようにしている。便秘にならないよう見守り、薬のコントロールを医師に相談出来るところまで医学的知識と見守りの強化に全員努めている。	今後も継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表で排便状況を把握し、医師と連携しながら便秘予防に努めている。レクリエーションの中でも体を動かす機会を多く持っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望を尊重している。側で職員が見守り、必要な時には介助も行っている。柚子湯、菖蒲湯などで季節感を楽しんでいる	一人ひとりの希望を尊重している。マンツーマンで入浴を行い、側で職員が見守り、必要な時には介助も行うようにしている。柚子湯、菖蒲湯などで季節感を楽しんでいる。	今後も継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床時間は特に決めておらず、本人の意思としている。居室温度は、快眠が保てるようコントロールしている			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬表から入居者それぞれの薬の目的や副作用を知り、正確な服薬管理に努めている。経過観察にも十分努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の好きなことや得意なことを知り、声掛けなどしながら元気ある日々を過ごせるよう努めている			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣で開かれる花市や盆踊り、公園への散歩に出かけている。自治会行事などにも積極的に参加・見学する機会を持っている	1日1回は近くの公園、二つ池公園、児童公園などへ散歩に出ている。近隣で開かれる花市や盆踊り、公園への散歩などへ出かけている。自治会行事などにも積極的に参加・見学する機会を持つようにしている。		今後も継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望すれば、近隣のスーパー等へ出かけられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は、本人の希望にそって支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分は絶えず清掃し、照明も時間に合わせている。季節感を配慮した壁掛けや小物で変化を楽しんでいる	居間はほとんどリビングで過ごしているため、壁面にパッチワークで作った歌の歌詞を書いたものを貼り、その気になったらすぐ一緒に歌えるようにしている。(歌詞を取りに行ったり、楽器を準備したりしているとその気が萎えてしまう)歌は手話を交えて行っており、利用者が正式の手話を覚えること、手話は自然に体操のエキササイズになっていることなど楽しみながらADLの維持が図られている。共有部分は絶えず清掃し綺麗に保たれ、照明も時間に合わせている。季節感を配慮した壁掛けや小物で変化を楽しむようにしている。	今後も継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイニングとリビングが広々と一体化しており、お互いじゃまにならない空間として、あるいは集う空間としている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の空間と意識できるよう使い慣れた家具や寝具を自分の思いで設置している	自分の空間と意識できるよう、使い慣れた家具や寝具を自分の思いで設置している。ご家族ともども自由に自分の部屋をインテリアしている。居室の清潔には充分配慮している。	今後も継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室がわからない方には、名前だけでなくその方が判断できるマークを入口に用意している		

事業所名	フェローズガーデン西寺尾
ユニット名	2 F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の人間性を尊重し家庭的で温もりのある介護を行い、地域社会とのかかわりを大切にするグループホームを運営するため、理念として「尊重、温もり、交流」を掲げている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	できる限り自治会や老人会の行事に参加し、地元の人々と交流を図っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護のことなら何でも相談できる「介護相談」を行ない、地域に役立つよう努めている また認知症を理解する機会をつくるよう努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月ごとに運営推進会議を開催し、入居者の現状説明や実際への取り組みを報告し、話し合いを通じて内部では気付かない点を発見することからサービスの質の確保・向上に努めている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日常業務を通じて市や区と連携を図り、サービスの向上に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議で身体拘束をしないケアの徹底に努めている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議で研修の時間を設け、虐待の防止に努めている。また日常ケアのなかで職員が意識のない虐待が見過ごされないよう注意をはらっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員会議で権利擁護研修の時間を設け、職員の意識を高めている。なお、必要性が発生した場合は即対応&活用できるようにしていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、十分に時間をかけて利用者や家族に説明している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に十分説明するとともに、「苦情申立窓口の設置について」をホーム内に掲示している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務中または毎月開催している職員会議などから意見や要望を聞き、反映させている また、意見や提案などを伝えるためのノートを置き 全職員が読み 結果を反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表は毎月、職員の要望を取り入れて作成している		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画に職員育成を掲げ、実践している。また、法人内外研修の機会を確保している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全職員を対象に「認知症介護実践研修」や「グループホーム質の確保事業」に参加させている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接は本人の自宅を必ず訪問し、十分に時間をかけて話を聞いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等の話をよく聞くとともに必ずホームを見学して戴いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望者の状況を把握し、一番好ましい介護サービスを薦めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	傾聴を基本に本人の生活歴を把握し、一緒に過ごすよう努めている。レクリエーション活動を充実させ共に過ごしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画の作成や交流会を通じて家族とスムーズに連携が図れるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	申し込みがある場合は、書類だけではなく何回でもホームを見学して戴いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション、食事、おやつの時間などの充実に努め、利用者どうしの交流を深めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関わりを必要とする例がない		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の傾聴に努め、日常会話の中から思いや意向を把握している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者だけに止まらず、家族からの情報収集にも努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌の閲覧や申し送りの徹底を図っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の観察から課題を整理するとともに、医師の判断や家族の意見を取り入れ、職員会議で検討しながら介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌への記載や申し送りの徹底によりケアを実践するとともに介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて病院への同行、処方箋の依頼や薬局への薬の受け取りを行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員との連携、消防署指導での避難訓練の実施、入居者の趣味に通じたボランティアの依頼（落語、三味線、大正琴、将棋等）を行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地元のかかりつけ医による往診を実施している。入居者の体調が変化した時は、すぐに電話で指示をもらえる体制を確保している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携先医院による健康診断や予防接種を実施するほか訪問看護も導入している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医師や家族と連携を図り、利用者に安心感を与えている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族や医師との話し合いに努め方針を共有している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が緊急に対する初期対応の訓練を行っている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施している。災害時の入居者避難場所を決定している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに気を付け、個人対応がプライバシーを損ねることにならないよう努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴から本人の思いを探し出すことに努め、本人の理解度に応じた説明を行い、納得が得られるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務スケジュールを優先するのではなく、その日の状況に合わせた支援に努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の身だしなみについては、常に職員が目向け声かけをしている。カット等はライセンスのある職員が行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	器やサイドディッシュに気を配り、味だけでなく目も楽しめるように努めている。器と一緒に選んだり盛り付けをしたり片付けも共に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取表や食事摂取表で確認し、入居者それぞれの健康状況に応じた支援に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で行える方には声掛けと見守り、介助を要する方には義歯管理まで行っている。歯科医との連携も取っている。口臭予防のため洗口液を用いている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表チェックを徹底し、一人ひとりのパターンを知ることにより気持ちよく排泄できるよう支援している。失敗後は清拭を行うとともに気にしなくていいような声かけを行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表で排便状況を把握し、医師と連携しながら便秘予防に努めている。レクリエーションの中でも体を動かす機会を多く持っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望を尊重している。側で職員が見守り、必要な時には介助も行っている。柚子湯、菖蒲湯などで季節感を楽しんでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床時間は特に決めておらず、本人の意思としている。居室温度は、快眠が保てるようコントロールしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬表から入居者それぞれの薬の目的や副作用を知り、正確な服薬管理に努めている。経過観察にも十分努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の好きなことや得意なことを知り、声掛けなどしながら活気ある日々を過ごせるよう努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣で開かれる花市や盆踊り、公園への散歩に出かけている。自治会行事などにも積極的に参加・見学する機会を持っている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望すれば、近隣のスーパー等へ出かけられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は、本人の希望にそって支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分は絶えず清掃し、照明も時間に合わせている。季節感を配慮した壁掛けや小物で変化を楽しんでいる		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイニングとリビングが広々と一体化しており、お互いじゃまにならない空間として、あるいは集う空間としている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の空間と意識できるよう使い慣れた家具や寝具を自分の思いで設置している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室がわからない方には、名前だけでなくその方が判断できるマークを入口に用意している		

目 標 達 成 計 画

事業所

フェローズガーデン西寺尾

作成日

平成23年7月26日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	個人の健康状況にあった散歩実施を行いたいが、完全には出来ていない	全入居者の散歩支援	各入居者の歩行状況を完全に把握する 同レベルの入居者どうしで散歩する 車いすを大いに活用させる	年間
2	23	入居者の傾聴に努めその会話の中から思いや意向を把握することに欠けている	入居者のキーワードを知る	日常業務をこなすだけでなく、個別傾聴を心がける	年間
3	13	職員に基本理念や方針を理解できていないところがある	基本理念を理解する	管理者が現場に入る機会を多く持ち、その都度指導していく	年間
4					年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。